

土木技術者の学び直しに関する実態調査 調査結果

公益社団法人 土木学会
技術推進機構

土木学会では、(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会<JMOOC>が展開している「理工系基礎科目講座」について、土木技術者の皆様に役立つ講座を早期に開講いただけるよう、土木分野での学び直しニーズを把握するため、『土木技術者の学び直しに関する実態調査』を、2017年7月5日から9月30日までの期間で実施しました。

期間中にいただいた有効回答 88 件について集計しましたのでその結果を報告します。

■調査概要

- 土木学会 HP を通じ、土木技術者を対象として依頼
(土木学会誌、メールニュース (8月・9月)、土木学会 facebook、継続教育 WEB サイト、継続教育 Twitter、チラシで告知)
- 調査内容：入社後学び直した科目名を専門領域と非専門領域に分けて記述する
- 調査結果：92 人から回答 (うち有効回答 88 人、若手 55 人、中堅 20 人、ベテラン 13 人)
 - 回答結果は、標準的な名称に統一 (名寄せ) して整理
 - 全体で平均 5.66 件 (若手 5.13 件、中堅 6.50 件、ベテラン 6.62 件)
 - 専門科目で平均 3.82 件 (若手 3.73 件、中堅 4.10 件、ベテラン 3.77 件)
 - 非専門科目で平均 1.84 件 (若手 1.40 件、中堅 2.40 件、ベテラン 2.85 件)

※若手：勤続 10 年未満、中堅：勤続 10 年以上 20 年未満、ベテラン：勤続 20 年以上

■回答者属性

最終学歴	若手	中堅	ベテラン	総計
高卒	1			1
高専本科卒・短大卒	8	5	5	18
学部卒・高専専攻科卒	14	4	3	21
大学院卒(修士)	29	9	4	42
大学院卒(博士)	3	2	1	6
総計	55	20	13	88

業種	若手	中堅	ベテラン	総計
建設コンサルタント	21	5	6	32
エネルギー関係	19	4		23
総合建設業	6	6	3	15
行政機関	5	3	2	10
運輸・交通関係	2			2
その他	2	2	2	6
総計	55	20	13	88

■結果

- 学び直したという回答の多い分野は、専門・非専門を合計した総合で「土質工学」「構造工学」「コンクリート工学」「水理学」の4つの分野で、約60%～50%の方が学び直したと回答しています。
- 土木工学分野以外では、統計学・経済学を学び直したという回答が上位にきています。この2つの分野は、若手より、中堅・ベテランで学び直したという割合が高くなっています。

Q：社会人になってから、自分で復習した／勉強した科目（総合）

有効回答88件(複数回答)を集計

分野(10%以上の回答)	総計(N=88)		若手(N=55)		中堅(N=20)		ベテラン(N=13)	
土質工学	50	57%	33	60%	11	55%	6	46%
構造工学	49	56%	30	55%	11	55%	8	62%
コンクリート工学	44	50%	25	45%	13	65%	6	46%
水理学	41	47%	26	47%	9	45%	6	46%
統計学	25	28%	12	22%	8	40%	5	38%
材料工学	21	24%	11	20%	5	25%	5	38%
経済学	18	20%	9	16%	4	20%	5	38%
鋼構造	14	16%	8	15%	5	25%	1	8%
河川工学	13	15%	11	20%	2	10%		
測量学	12	14%	7	13%	1	5%	4	31%
交通工学	11	13%	7	13%	2	10%	2	15%
都市計画・地域計画	10	11%	6	11%	2	10%	2	15%
維持・補修・保全技術	10	11%	3	5%	5	25%	2	15%
耐震工学	10	11%	7	13%	3	15%		
施工技術	9	10%	4	7%	3	15%	2	15%
総計	498		282		130		86	
一人あたり件数	5.66 件		5.13 件		6.50 件		6.62 件	

※分野については回答内容を元に名寄せを行い集計しています。

若手

中堅

ベテラン

勤続10年未満

勤続10年以上20年未満

勤続20年以上

(データ内訳)

Q1：専攻分野（に近い）科目の中で社会人になってから、自分で復習した／勉強した科目

有効回答88件(複数回答)を集計

分野(上位10位)	総計(N=88)		若手(N=55)		中堅(N=20)		ベテラン(N=13)	
土質工学	45	51%	29	53%	11	55%	5	38%
構造工学	45	51%	26	47%	11	55%	8	62%
コンクリート工学	40	45%	22	40%	13	65%	5	38%
水理学	38	43%	23	42%	9	45%	6	46%
材料工学	20	23%	11	20%	5	25%	4	31%
鋼構造	13	15%	8	15%	4	20%	1	8%
河川工学	11	13%	9	16%	2	10%		
都市計画・地域計画	10	11%	6	11%	2	10%	2	15%
交通工学	10	11%	6	11%	2	10%	2	15%
耐震工学	9	10%	7	13%	2	10%		
測量学	9	10%	5	9%	1	5%	3	23%
総計	336		205		82		49	
一人あたり件数	3.82 件		3.73 件		4.10 件		3.77 件	

※分野については回答内容を元に名寄せを行い集計しています。

若手 勤続10年未満
 中堅 勤続10年以上20年未満
 ベテラン 勤続20年以上

Q2：専攻以外の他分野の科目で社会人になってから自分で勉強した科目

有効回答88件(複数回答)を集計

分野(上位10位)	総計(N=88)		若手(N=55)		中堅(N=20)		ベテラン(N=13)	
統計学	25	28%	12	22%	8	40%	5	38%
経済学	18	20%	9	16%	4	20%	5	38%
倫理学	7	8%	3	5%	2	10%	2	15%
法学	6	7%	3	5%	2	10%	1	8%
土質工学	5	6%	4	7%			1	8%
維持・補修・保全技術	4	5%	1	2%	3	15%		
英語	4	5%	2	4%	1	5%	1	8%
数学	4	5%	4	7%				
コンクリート工学	4	5%	3	5%			1	8%
構造工学	4	5%	4	7%				
	162		77		48		37	
一人あたり件数	1.84 件		1.40 件		2.40 件		2.85 件	

※分野については回答内容を元に名寄せを行い集計しています。

若手 勤続10年未満
 中堅 勤続10年以上20年未満
 ベテラン 勤続20年以上

(回答者属性：その他項目)

業務分野	若手	中堅	ベテラン	総計
調査	5	1	3	9
計画	13	7	3	23
設計	19	4	3	26
施工	5	4	2	11
維持管理	13	4	2	19
総計	55	20	13	88

組織規模	若手	中堅	ベテラン	総計
1000人以上	32	11	4	47
500人以上1000人未満	12	2	4	18
100人以上500人未満	6	5	3	14
50人以上100人未満	2	1	1	4
50人未満	3	1		4
10人未満			1	1
総計	55	20	13	88

(属性別集計：業種別)

業種：建設コンサルタント

分野(上位5位)	総計(N=32)		若手(N=21)		中堅(N=5)		ベテラン(N=6)	
水理学	15	47%	9	43%	3	60%	3	50%
土質工学	13	41%	7	33%	3	60%	3	50%
構造工学	11	34%	6	29%	1	20%	4	67%
コンクリート工学	11	34%	6	29%	3	60%	2	33%
河川工学	7	22%	7	33%				
交通工学	7	22%	5	24%	1	20%	1	17%

業種：エネルギー関係

分野(上位5位)	総計(N=23)		若手(N=19)		中堅(N=4)		ベテラン(N=0)	
土質工学	17	74%	14	74%	3	75%		
水理学	15	65%	11	58%	4	100%		
コンクリート工学	13	57%	9	47%	4	100%		
構造工学	12	52%	9	47%	3	75%		
鋼構造	5	22%	4	21%	1	25%		

業種：総合建設業

分野(上位5位)	総計(N=15)		若手(N=6)		中堅(N=6)		ベテラン(N=3)	
構造工学	13	87%	6	100%	5	83%	2	67%
コンクリート工学	11	73%	6	100%	4	67%	1	33%
土質工学	10	67%	5	83%	4	67%	1	33%
材料工学	6	40%	2	33%	3	50%	1	33%
鋼構造	5	33%	2	33%	2	33%	1	33%

(属性別集計：最終学歴別)

最終学歴：高専本科卒・短大卒/学部卒・高専専攻科卒

分野(上位5位)	総計(N=39)		若手(N=22)		中堅(N=9)		ベテラン(N=8)	
構造工学	22	56%	10	45%	6	67%	6	75%
水理学	20	51%	11	50%	6	67%	3	38%
土質工学	19	49%	12	55%	4	44%	3	38%
コンクリート工学	18	46%	7	32%	8	89%	3	38%
材料工学	11	28%	7	32%	3	33%	1	13%

最終学歴：大学院卒(修士)

分野(上位5位)	総計(N=42)		若手(N=29)		中堅(N=9)		ベテラン(N=4)	
土質工学	24	57%	16	55%	6	67%	2	50%
構造工学	22	52%	16	55%	4	44%	2	50%
コンクリート工学	19	45%	13	45%	5	56%	1	25%
水理学	16	38%	10	34%	3	33%	3	75%
耐震工学	9	21%	7	24%	2	22%		

土木技術者の学び直しに関する実態調査(回答期限:9/30) | 土木学会 技術推進機構



土木学会

ホーム

土木技術者の学び直しに関する実態調査(回答期限:9/30)

(公社)土木学会 技術推進機構

(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会<JMOC>は、企業の若手技術者を対象に、経団連を通じて実施した「技術者の学び直しに関するアンケートの結果を基に「理工系基礎科目講座」を展開されています。

2017年7月現在、「理工系基礎科目講座」は機械系・電気系・その他の系統で計12の講座が開講されています。

将来的には「理工系基礎科目講座」に土木分野も開講されるということですが、土木分野では回答のサンプル数が少なく、開講の優先度は低くなっていると同っております。

そのため土木学会では、JMOCから土木技術者の営業に役立つ講座を早期に開講いただけよう、土木分野での学び直しニーズを把握するため、土木技術者の学び直しに関する実態調査を実施することいたしました。

本調査を通じて、若手の土木技術者が抱える学び直しに対するニーズをJMOCに提供し、講座開講に向け、働きかけを行ってまいります。若手土木技術者のニーズに対応して頂けるよう、委員・非委員を問わず多くの方からの回答を頂きたく存じます。

科目名は出身校で受講した科目名で回答ください。科目名が不明の場合は、年次学術講演会のセッション名(http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/108/)を参考に記述して下さい。

【専攻分野における代表的な科目名称の例】

- ・応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、地盤工学、水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海洋工学、環境水理
- ・土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学
- ・土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量
- ・土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造
- ・建設專業計画、設計技術、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメント
- ・環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全

ご協力の程、よろしくお願いたします。

■対象者:企業・団体・官公庁に所属する、入社・入庁10年目までの土木技術者の方
(入社10年超の方も回答頂くことは可能ですが、JMOCへのデータ提供の際には参考情報として取り扱います。)

■土木技術者の方であれば、業種・職種は不問です。

■回答締切: 2017年9月30日(土)

【本件に関する問合せ先】
公益社団法人土木学会 技術推進機構 中島 opcet-cpd@at>jsce.or.jp (<at>を@に変更してください。)
TEL:03-3355-3502

土木技術者の学び直しに関する実態調査(回答期限:9/30) | 土木学会 技術推進機構

Q1.専攻分野の科目(専攻分野に近い科目)の中で社会人になってから、自分で履修した/勉強した科目を教えてください。

科目のうち一部の履修/勉強でも記載してください。科目名は、出身校のカリキュラムの科目名としてください。科目名が不明な場合は、年次学術講演会のセッション名(http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/108/)を参考に記述して下さい。※回答欄にすべて記入する必要はありません。

A1_1: 例)構造力学、土質工学、材料工学、水理学、等

A1_2:

A1_3:

A1_4:

A1_5:

A1_6:

A1_7:

A1_8:

A1_9:

A1_10:

A1_11:

A1_12:

A1_13:

A1_14:

A1_15:

Q2.専攻以外の他分野の科目で社会人になってから自分で勉強した科目

科目のうち一部の勉強でも記載してください。※回答欄にすべて記入する必要はありません。

A2_1: 例)統計学、倫理学、経済学、等

A2_2:

A2_3:

A2_4:

A2_5:

A2_6:

A2_7:

土木技術者の学び直しに関する実態調査(回答期限:9/30) | 土木学会 技術推進機構

- A2_8:
- A2_9:
- A2_10:
- A2_11:
- A2_12:
- A2_13:
- A2_14:
- A2_15:

あなたのことについて教えてください。
以下の回答は入力必須です。

最終学歴 *

- 高卒
- 高専本科卒・短大卒
- |学部卒・高専政科卒
- 大学院卒(修士)
- 大学院卒(博士)

経験年数(入社の日) *

年目

業種 *

- 総合建設業
- 建設コンサルタント
- 行政機関
- 運輸・交通関係
- エネルギー関係
- 専門工事業
- メーカー
- その他

組織規模 *

- 10人未満
- 50人未満
- 50人以上100人未満
- 100人以上500人未満
- 500人以上1000人未満
- 1000人以上

自組織に所属する職員の方の総数を選択下さい。(部署ではなく、組織全体の規模をご回答下さい。)

ご自身が主とする業務分野 *

- 計画
- 調査
- 設計

土木技術者の学び直しに関する実態調査(回答期限:9/30) | 土木学会 技術推進機構

- 施工
 - 維持管理
- 会員の別 *
- 土木学会の個人会員である
 - 土木学会の個人会員ではない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

新着・お知らせ

(c)Japan Society of Civil Engineers

(チラシ)

『土木技術者の学び直しに関する実態調査』へのご協力をお願い

(公社) 土木学会 技術推進機構

(一社) 日本オープンオンライン教育推進協議会<JMOOC>という団体では、企業の若手技術者を対象に、経団連を通じて実施した「技術者の学び直し」に関するアンケートの結果を基に「理工系基礎科目講座」を展開されています。2017年7月現在、「理工系基礎科目講座」は機械系・電気系・その他の系統で計12の講座が開講されています。(裏面参照)

将来的には「理工系基礎科目講座」に土木分野も開講されるということですが、土木分野では経団連経由で実施した「技術者の学び直し」に関するアンケートの回答数が少なく、開講の優先度は低くなっていると伺っております。

そのため土木学会では、JMOOC から土木技術者の皆様に役立つ講座を早期に開講いただけるよう、土木分野での学び直しニーズを把握するため、『土木技術者の学び直しに関する実態調査』を実施することといたしました。

本調査を通じて、若手の土木技術者が抱える学び直しに対するニーズをJMOOCに提供し、講座開講に向け、働きかけを行ってまいります。若手土木技術者のニーズに対応して頂けるよう、会員・非会員を問わず多くの方からの回答を頂きたく存じます。

ご協力の程、よろしくお願いたします。

http://committees.jsce.or.jp/opcet/01_manabinoshi

- 対象者：企業・団体・官公庁に所属する、入社・入庁10年目までの土木技術者の方
(入社10年超の方も回答頂くことは可能ですが、JMOOCへのデータ提供の際には参考情報として取り扱います。)
- 土木技術者の方であれば、業種・職種は不問です。
- 回答締切： 2017年9月30日(土)

【本件に関する問合せ先】

公益社団法人土木学会 技術推進機構 中島 opcet-cpd@jsce.or.jp

TEL : 03-3355-3502

